



CHARTERED JAN,3, 1980

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA  
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB

# 仙台青葉城ワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SENDAI-AOBAJOH

Sendai YMCA, 9-7 Tachimachi,  
Aobaku, Sendai 980-0822 Japan

〒980-0822

仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL(022)222-7533 FAX(022)222-2952 E-mail:info@sendai-ymca.org

== 2015~2016年度 主題 ==

- 国際会長【信念のあるミッション】 Wichian Boonmapajorn (タイ)
- アジア地域会長【愛をもって奉仕をしよう】 Edward K.W.Ong (シンガポール)
- 東日本区理事【原点に立って、未来へステップ】 渡辺 隆 (甲府)
- 北東部部長【今と原点を融合して未来へ】 中川 典幸 (仙台)
- クラブ会長【未来を信じて共に歩もう】 菊地 弘生 (仙台青葉城)

**VOL. 384**

2015年07月

## 強調月間：「評価」キックオフ/YMCA サービス/ASF/RBM

<今月の聖句>

はじめに言（ことば）あり、言は神と共にあり。

(ヨハネによる福音書第I章1節)

## 「新年度のスタートにあたって」

2015-16年度 会長 菊地 弘生

新年度のあたり、仙台青葉城の活動を楽しくそして充実したワイズライフをメンバーと共に過ごすことが出来ますよう鋭意、邁進頑張って参る所存です。

会長職は今回で4度目になりますが、新たな気持ちで取り組んで参りますので、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

まず第一に昨年、発足した石巻地区に新クラブを設立しようという動きが活発になってきました。設立に当たっては仙台3クラブが一致団結して協力していくことが不可欠です。

取り分け、新会長同志がコミュニケーションを取り合っ、メンバーへの理解と協力を頂きながら弛まなく前進して行けたらと考えています。東日本区並びに北東部から応援を頂く時期が来た時には何卒、宜しくお願い致します。

第二に仙台YMCAとの奉仕活動における協働事業が活発になっていることです。

震災支援事業では、至らないところを互いに補完しながら、今日まで続けてきました。



今年で5年目を迎えますが、その間、互いに理解を深め合うようになりました。

非常に良い協働環境の中で、これからも高め合いながら一つの奉仕活動に真剣に取り組んで参りたいと思います。

第三にメンバーの増強はわがクラブの緊急、必須な課題です。今年2月、無事に35周年を迎えたことは先人の功績があつてこそですが、一年毎に高齢化が進む中であつて、5年後の創立40周年を見据えて全員で新しい仲間を増やし、先輩諸兄が苦勞して築いてきたわがクラブへの思いに報いられるような具体的な事業を今年度中に行うことが出来ればと考えております。

改めてこの一年を振り返ったとき、楽しい一年だったと言って貰えられるよう頑張りますので、宜しくお願い申し上げます。

会長 菊地 弘生  
 副会長 涌澤 博  
 書記 加藤 重雄  
 会計 遠藤 勝志  
 直前会長 南澤 一右  
 メネ会長 佐藤あつ子  
 担当主事 青木 絵美

6月例会				B F		スマイル	
会員数	14名	メネット	3名	切手	0 kg	今月	8,000円
出席者	8名	ゲスト	5名	現金	10,000円	累計	144,000円
Make-Up	2名	出席率	71%	累計	10,000円	ファンド	12,550円

## 6月第一例会報告

日時 2015年6月18日(木) 18:45~20:45  
場所 YMC A会議室 203  
出席者 青木(絵)、加藤、金原、菊地、佐藤(あ)、  
清水、涌澤、南澤 <メネット>池田、加藤、  
金原 <ゲスト>英士デンタルクリニック  
院長佐藤英士先生、今澤智代さん・吉田一恵  
さん(仙台クラブ)、藤岡由紀さん(幼稚園)  
高橋優歌さん(南大野田保育園)

ゲストスピーカー要旨(記録:南澤 一右)

英士デンタルクリニック院長 佐藤英士氏

6月第一例会は、清水メンと菊地メンのかかり付けの医師である佐藤英士先生に「歯の健康は人生を変える」—幼児は3歳、大人は80歳が分岐点—と題して、歯に関する貴重なスピーチを拝聴致しました。

まずは、虫歯についての基礎知識から始まりました。食事を取ると糖による歯の脱炭現象が生じそれが進行すると虫歯になるそうですが、その進行を食い止めるのが、再石灰化とのことです。ただ、間食が多かったり、口の中が不衛生だったりすると、再石灰化が妨げられ、脱炭化が進行し歯が蝕まれてしまいます。近年は、歯磨きの習慣づけや、フッ素コーティング・歯の溝を埋める手法(シーラントという)等の虫歯予防技術の進歩により、年々虫歯人口が減っているとのことで喜ばしいことでした。その代わりこれからは、歯を失わないための歯周病予防が大切になってくるとのことです。また、3歳までに虫歯が少ない子は、その後も少ないということで、やはり、小さいうちからよい習慣を身につけさせることは、その次の世代にも繋がることですし、とても大切なことだと痛感するスピーチでした。自分の歯で、一生食べ物を噛むことができる素晴らしさを改めて実感するとともに、既に虫歯の多い人、自分の歯が少ない人にとっては、佐藤先生の話しをもっと早く聞いていればよかった「後悔先に立たず」と感じた例会になったのではないかと思います。今からでも遅くはないようです。日頃のアフターケアの大切さを教えていただきました。(↓左より金原・加藤メネット、南澤・涌澤ワイズに今年度のお働きに感謝の記念品を贈る)



## 7月第二例会報告

日時 2015年7月2日(木) 18:45~20:45  
場所 スマイルホテル3階シェルブール  
出席者 青木(絵)、尾木、加藤、金原、菊地、車塚、  
佐藤(あ)、清水、南澤、涌澤  
<メネット> 加藤、金原  
開会点鐘・会長挨拶 会長 菊地 弘生  
議事 司会 車塚 潤

1. 7月第一例会(キックオフ例会)における議案・審議事項の確認(7月16日)

- ①会長主題②前年度事業報告③14-15決算報告
- ④15-16活動方針および行動予定(年間行事)
- ⑤15-16収支予算書⑥クラブ役員等組織図⑦ドライバー連絡表⑧委任状の提出⑨事前監査および監査報告⑩会長引継ぎ書

上記資料については、総会時まで会長より各役員に事前配布する。

2. その他連絡・報告事項

- ①YMC A報告
  - ・新入職員歓迎会 7月3日(金) 4Fホール
  - ・リーダー委嘱状授与式 7月10日(金) 4F
- ②メネット会
  - ・仙台3クラブともしおかクラブ合同メネット 7月8日(水)
  - ・絵本発送作業 6月20日(土) 仙台YMC A
- ③3クラブ実行委員会より  
各クラブより会長+委員1名を選出し運営する。
- ④ブリテン委員より7月号の原稿依頼
- ⑤東日本区厚木大会での被災地支援出店販売の決算報告を承認、収益金は(仮)石巻広域クラブ設立準備委員会に献金承認
- ⑥加藤メネット委員長より1年間のお支えに感謝したい旨の挨拶があった。

3. 14-15年度会長、役員、区役員の慰労・感謝会

上記議事協議終了後、前年度一年間頑張った役員「ごくろうさん会」が車塚ワイズの進行で和やかな雰囲気の中で行われた。出席者より、今年度への意気込みや抱負などが多数寄せられました。



8月の第2例会は8月20日(木)に変更になりましたのでご注意ください。

2015-2016 年度  
仙台青葉城クラブ活動方針・活動計画  
2015-2016 会長 菊地 弘生  
会長主題「未来を信じて共に歩もう」

1. 例会は、提案・参加型を軸にし、交流事業や親睦を大事にしています。
2. CS 事業の在り方を今一度見直し、積極的に参加する環境づくりを行います。
3. 組織を支えるメンバーシップを成長させ、全員が協力し合って行動するチームワークづくりを図っていきます。
4. 会員増強事業は、危機意識という側面よりも、メンバー同士の信頼関係から生まれる連帯意識を発揮することによって事に当たります。  
(衰退に向かうことを悲観するのではなく、今の事業活動が継続しているかが大事。)
5. YMCA 理解を深め合い積極的に事業を支援していきます。

2015~2016 年度  
会員増強推進活動にあたって



会員増強事業委員長 涌澤 博

昨年度は東日本区会員増強主任を務めさせていただきましたが、昨年の経験を基にこれからはクラブ内の会員増強に力を入れて行きたいと考えております。東日本区内のクラブ状況を昨年度は色々な機会で見たり聞いたりする事ができましたが、会員数が増加しているクラブは活動が活発であり、勧誘活動も抜かりなく行っている事が分りました。

では私達はどうか？ YMCA だけでもバザー、ゴルフ、チャリティーラン、クリスマス、募金活動など様々なイベントがあります。北東部ではリーダーズアクトなども行いますが、そのような活動をいかに楽しく開催する事ができるか、そして楽しみに来ていただく方々にワイズの魅力をどのように伝えるか？ 次にクラブ例会の持ち方をどうするか？ 懇親を充実させてみましょうか？ 仕事で遅くなる人は懇親会だけでも参加できるようにするのも良いかもしれません。私達は震災支援活動も行っています。DBC では毎年姫路グローバルクラブが、支援に来てくれます。その他にもいろいろな仲間が来てくれます。石巻でクラブを立ち上げようとしています。

このような活動をどのようにアピールするか、ワイズ仲間との活動の楽しみをどのように伝えるか。今期は人を増やすためのツール（活性化と PR）を考えながら、当座の目標とする会員数を 15 名までに

達成できるような活動を行ってまいりましょう。

第 18 回東日本区大会メネットアワー報告

東日本区メネット委員長 加藤真子

第 18 回東日本区大会における「メネットアワー」は、飛び入りの方を含め計 40 名の出席をいただき、賛美歌「さあ、共に生きよう」を歌って始まりました。



委員長挨拶、横浜とつかクラブのメネット会長吉原和子さんからの歓迎の言葉、続いて事業報告、献金・会計報告、前年度の東日本大震災復興支援金の使途報告があり、その後、今年度の支援金を仙台 3 クラブともりおかクラブを代表して井上優子メネット（もりおか）に大震災支援金 120,500 円の目録をお渡ししました。

次期メネット委員長・利根川恵子次々期理事は協議員会と重なりましたが、終盤には何とか駆けつけていただき、代々受け継がれてきた聖書を手渡すことができました。

今回のお楽しみ講演として、厚木市在住の中村碩子さんに「あつぎの女性-その歴史と背景-」と題してお話をいただきました。埋もれていた市井の女性に光を当て、聞き書き集を出版された中村さんは、『組織は違っていても女性同士、たくましく、しなやかに前を向いて進んでいきましょう』と大変共感ある言葉とお話をいただきました。謝礼は固く辞退され、お気持ちを大事にさせていただき、メネット献金に頂戴しました。福島多恵子さん（東京目黒）による心に沁みる食前の感謝の後、皆で昼食を取り、最後に「メネットのねがい」を全員で歌って閉会となりました。

昼食の合間には、西日本区の次期理事御夫妻はじめ 4 名の西日本区からのお客様から西日本区のメネットの現状をお聞きし、同じような問題を抱えていることや、ぜひ震災支援に協力をしていきたいと嬉しい言葉をいただき、貴重な交換の場となりました。会場の場所が二転三転し、少し慌ただしいこともありましたが、大変充実したメネットアワーのとき（↓写真）を持つことができました。

「終わりよければすべて良し」と、皆さん、笑顔でまたの再会を誓いました。





### ▼南三陸防災庁舎震災遺構に決まる

宮城県北東エリアの志津川湾に位置する南三陸町防災対策庁舎は東日本大震災の巨大津波で職員ら43人が犠牲になった。町は財政負担や遺族の声を考慮して2013年9月には一旦解体を表明したが、その後県震災遺構有識者会議の保存する価値があるとの結論で、震災発生から丸20年の2031年3月11日まで県有化し、遺構として保存することに決定した。



### ▼御礼！「ワイズ・さくらんぼ」販売報告

今年で2年目となります「ワイズ・さくらんぼ」へ多くのご注文をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。“甘くて美味しいさくらんぼでした！”という返事とともに、特に西日本区からは”さくらんぼがこんなに美味しいとは知らなかった”という声もいただき、生産者の方にも喜んでいただきました。

東日本区から25クラブ150箱、お知らせ期間が短くてご心配をおかけした西日本区からも7クラブ53箱の協力をいただき、合計822,500円の売上となりました。10%の82,250円を東日本大震災支援仙台3クラブ実行委員会支援活動に還元させていただきますことをここにご報告させていただきます。皆様のご支援ありがとうございました。(加藤重雄)

### ▼石巻市・百俵館に絵本の追加を届ける

百俵館子ども図書館がオープンして4か月目に入りましたが、子ども達の利用数増加とともにカフェ的な雰囲気の効果もあって大人たちの利用者も増えているそうです。このたび、姫路グローバルクラブの小澤恵子さん、同クラブの紹介で姫路和光教会さん、東日本区メネット委員会分も含めて82冊の追加贈呈があり7月9日に届けてまいりました。(↓写真)



## 8月仙台3クラブ合同例会&

### Joan・W次期国際会長歓迎会

日時 2015年8月6日(木) 18時30分～

場所 「TKPガーデンシティ仙台勾台」  
仙台市青葉区国分町3-6-1(仙台パークビルディング2階)

その他 会費4,500円(メン・メネット共)  
\*出欠は、加藤ドライバーまでお願い申し上げます。

### クラブ・今後のスケジュール

- 7月25日(土) 北東部第1回評議会(仙台YMCA)
- 7月31日(金) 第26回アジア地域大会(京都)～8月2日(日)(ウエスティン都ホテル)
- 8月06日(木) 平和七夕飾り付け(6時～)～08日(土) レイ配り(3日間、14時より)
- 8月06日(木) 仙台3クラブ合同例会&Joan・W次期国際会長来仙歓迎会
- 8月20日(木) 仙台青葉城クラブ第2例会
- 8月22日(土) 石巻広域クラブ設立準備委員会 YMC A石巻支援センター 17時
- 9月03日(木) 仙台青葉城クラブ第2例会
- 9月05日(土) 北東部部会

## 会費納入のお願い

今年度の会費の納入をよろしくお願い申し上げます。納入期限は8月末までですが、分割払いでも結構です。

- A. 一括全納(8月末) 50,000円
- B. 二回分割(8・11月末) 25,000円
- C. 三回分割(8月末2万円、11月末・3月末各1.5万円)

\*銀行：七十七銀行幸町支店 普通909\*\*\*\*  
\*口座名：仙台青葉城ワイズメンズクラブ  
会計 菊地 弘生

### < HAPPY BIRTHDAY >

- ・7月05日 涌澤 博さん
- ・7月13日 加藤 真子さん

## モンゴル・ウランバートルクラブ

### — 応援ツアーに参加して —

▼昨年、モンゴル初のワイズメンズクラブのチャーターをスポンサーした東京武蔵野多摩クラブのお誘いを受けて初めてモンゴル国へのツアーを経験しました。現在、幕内力士 42 人中 12 人のモンゴル出身者が占める大相撲、彼らの国技であるモンゴル相撲とはどんなものかも興味がありました。参加者は、ウランバートルでの合流組も含め、7クラブ 13 人となりました。また、添乗員として急遽ワールドトラベルさんより、モンゴル出身のダライ氏が同行してくれる事になり、一行にとって何よりも心強く有意義な応援ツアーとなりました。(清水記)

#### ▼6月24日(水) <第一日目>

日本とモンゴルの時差は 1 時間ですが今現地は夏時間なので日本との時間差はありません。成田より空路 5 時間半をかけてウランバートル・ジンギスハーン国際空港(↓写真)に 20 時 10 分過ぎに到着したが、外はまだまだ陽が落ちていません。



ホテルにチェックイン後、22 時過ぎ市内のレストランで遅い夕食。メイン料理は牛の挽肉をパンで包んだモンゴル料理の一つ“ホーシュール”をいただいた。

#### ▼6月25日(木) <第二日目>

モンゴル国は日本の 4 倍の面積に対し、人口は約 290 万人、内首都ウランバートルには約 130 万人が住んでいる。市街地は至るところで建設ラッシュや交通渋滞が続き、貧富の差と若者の多さが目立つという。日本での福島原発事故発生後は原子力発電所建設の見直し運動で、エネルギーの主な供給源は火力発電所となり環境悪化の原因ともなっているという。郊外に広がるなだらかな草原地帯にはどんどん住宅が建ち、市街化が急速に拡大している。

最初に訪れたのは、市中心部から北に専用バスで約 30 分のところで高台に位置するダンバダルジャー日本人墓地でした。先の大戦後、旧ソ連のシベリアから社会主義国だったモンゴル人民共和国に強制移送、1945 年から 1947 年まで抑留された日本人捕虜は 12,300 余人、命を落とした日本人は 1597 名でモンゴル全土 18 か所に埋葬されました。その方々の慰霊とモンゴル・日本人両国の友好交流のシンボルとして、両国の赤十字社、慰霊団、関係者の努力で 1966 年に建立されました。現在は、地元の霊園管理人の下で、霊園の管理と植林緑化活動が続けられていますが、生前に川原ワイズが訪れたいと語っていたこの地に

自分自身が立てたことを想い、二度と日本が戦争を起こすことのないように誓いつつ、日本人霊園を後にしました。



なだらかな山々を縫うように草原と砂漠の中のデコボコ道を走る

こと約 2 時間、“もう少し、もう少し”という案内役の声を何度か聞きながら YMC A の新しいキャンプ地「アラグンテ ゲルキャンプ場」に到着した。完成したばかりのゲルで荷物を整理して、遅い昼食の串焼きのバーベキューをいただいた。

しばし休憩の後は、アラグンテ地域住民が集まって伝統お祭り“ナーダム”を開いてくれた。地元参加者は、区長さんを始め、老若男女 100 人以上、それ



と愛馬が多数参加しての 3 種目の競技会が開かれた。最初は男性のみの草競馬とモンゴル相撲、

そして弓取り競技は男女別に分かれての真剣勝負となった。中でもモンゴル相撲は迫力があり、決定戦は 40 歳のベテランが 19 歳の青年を倒し優勝を飾った。表彰は、宮内団長始め日本からの一行が担い、地元住



民の皆さんの貴重な交流の時を持つことができました。19 時頃

よりキャンプ場のオープニングセレモニーが行われ(↑写真)、新しく建てられたゲルの前でのテープカット、その後の交流会とウエルカムパーティーは満点の星空の下で、地元メンバー 13 名を含め総勢 27 名での交流会は夜遅くまで続きました。(↓写真)



朝 3 時頃、目が覚めゲルの外に出てみると、寝る前出ていたに月も沈んで、満天の星空、北の空から南に向かって天の川が降り注ぐように輝き、自分も吸い込まれそうな天体ショーを体感することができた。



### ▼6月26日(金) <第三日目>

生まれて初めてのゲル宿泊を経験して9時前キャンプ地を出発、昨日のデコボコ道を折り返し、テーマパーク13世紀モンゴル村を視察し、途中、大草原に



そびえたつ「ジンギスハーン像」(←写真)に度肝を抜かれる。お告げ女性がいるシャーマン公園を経由して夕方、本日

の宿泊地テルレジ国立公園内のゲルキャンプ村に入る。標高約1500mに位置するこのキャンプ場には、約80棟のゲルとキャビン、レストラン、トイレ、浴室等が別棟に設置され、(写真→)国内外から多くの観光客が訪れる。



入村手続きを終え、乗馬体験組と散策・休憩組に分かれる。夕方からパラパラと雨模様、夕食後、満点の星空観賞は締め、ゲル内でのワイズパーティーを愉しみ就寝する。深夜、ゲルの外で何やら変な物音、外に出て見ると犯人は放牧されている牛がゾロゾロ、ゲル周囲の草を食べに来ていた。それにしてもこんな時間にたくさんの牛が来訪とは、さすが草原の主・牛たちである。

### ▼6月27日(土) <第四日目>

6時起床、夜半に恵の雨が降ったようであるが見事に晴れた。昨夜約束したワイズ岳(勝手に命名した?)への登山に宮内さん、田中さん、井上さん、渡邊さん、私の5人で挑戦した。日の出を追いかけながら標高1600mの頂上を目指した。30分ほどで岩場の山頂に



到着。東方の峰からは輝く日の出が、振り返って西の彼方を見ると真に「グランドキャニオン・モンゴル版」を見ているようで、昨夜の雨のせいか緑のジュータンがまぶしい。地球が生き返ったようだ。

9時前、テルレジ国立公園ゲルキャンプ場を出発してウランバー

トルを目指した。途中車道の土手の草を食べる牛や羊の群れに、我々の



独立を獲得した民主政権誕生の経緯などの資料が保存されている国立博物館、1919年完成した一本の釘も使わない総木組みの宮殿で8代チベット仏教の高僧の住居だったボグドハーン宮殿を見学した。18時からはモンゴル国立劇場において、国を代表する芸術家たちによる「モンゴル伝統民族舞踊コンサート」を鑑賞した。市内は、土曜日のせいか若者達で賑わい、主道路は車で渋滞したが、走行中の半数が日本車と韓国車だったことも驚きである。(↑写真)



21時からは、モンゴル衣装に正装した従業員がそろそろレストランで分散会を行った。参加者全員と同行のダライさん、お子さんを親御さんに預けて毎日案内して下さった奥様への感謝会も合わせて行った。

### ▼6月28日(日) <第五日目>

あっという間の5日目の朝となり、この後、新婚旅行を兼ねて世界各地への旅に向かうという小山コメット夫妻とホテルで別れて空港に向かった。

▼東日本区理事メッセージ (理事:渡辺 隆)  
主題:「原点に立って、未来へステップ」



ワイズの信条に「青少年の為に YMCA につくそう」とあります。東日本区定款には、ワイズメンズクラブの目的の第一は「奉仕活動を通じて YMCA の活動を支援することにあります。現在のワイズと YMCA についての関係は、A. 協力的パートナーとして、共に支えつつ発展している。B. YMCA に支えられ、ワイズが展開されている。C. ワイズの支えによって、YMCA の活動が維持されている。D. ワイズ活動が盛んで、独自に YMCA を立ち上げている。などが挙げられます。「YMCA ブランド」を共有・活用し、ワイズ・YMCA 活動を拡大し、ワイズそして YMCA 共に認知度を高め、定款にあります通り、「クラブの会員は YMCA の会員になるものとする」ことを実践しましょう。

東日本区発足時の会員数 1,246 名を目指しましょう。過去の決算を見ましても、1,000 名を切った会員数では東日本区の健全な運営は難しいと言われていきます。会員拡大目標は各クラブ純増 1 名を確保していただく事をお願いします。

東日本区設立時の基本方針は、1) 部を強化し、事業推進の主体をクラブ・部とする。2) 部に権限を委譲して、経費節減の為、区は「小さなキャビネット」とする、とあります。事業推進主体をクラブ・部とすることで、組織の活性化を図っていただき、クラブと部の関係を強固にしましょう。クラブ会長のリーダーシップのもと、会員一人一人の顔が見える個性あるクラブが必要と思います。

東日本区の現状を正しく分析し、次世代、次々世代の若者といかに考えを共有するか、待っているのではなく、若者の中に飛び込み、心を通わせ、若者にも分かり易いワイズメンを目指し、すべての会員がリーダーとして、「未来ステップ」を明日からではなく、今から実践していきましょう。

アジア地域会長のエドワード・オンさんから組織が成長するためのパラダイムシフトについて、メッセージを頂きました。我々すべてのワイズメンは地域社会におけるリーダーです。ワイズの仲間から学び、社会に生かし、「世の為、人の為」に地域貢献いたしましょう。

理事通信、東日本区報は下記にリンクしてご覧下さい。

<http://ys-east.jimdo.com/>東日本区ニュース-理事通信/

▼東日本区大会において実施しました被災地復興・石巻新クラブ設立支援物産コーナーでは、参加者の皆さまからたくさんの励ましとご支援をいただき、売上金 498,220 円、仕入れ代金 404,468 円、収益金 93,752 円となりました。収益金は、新クラブ設立の為に大切に使用させていただきます。

▼仮称：石巻広域クラブ設立準備委員会の次回開催は次の通りです。

- ・日 時：2015 年 8 月 22 日 (土) 17 時～19 時
- ・場 所：YMCA 石巻支援センター
- ・連絡先：清水 (090-2365-7940) 伊藤(080-6552-7622)



仙台YMCAニュース

(1) 仙台YMCAバザーのご報告

6 月 14 日に行われたバザーにご協力いただきありがとうございました。1,013,663 円を支援金として、児童養護施設の子どもたちをキャンプや水泳へ招待する費用、障がい児の支援プログラムの実施費用、リーダー育成費用とさせていただきます。

(2) メネット会さんからの絵本届きました

仙台YMCA各施設にメネットさんからの絵本が届きました。子どもたちは届いた絵本に目を輝かせて読んでいます。毎年ご支援いただき、本当にありがとうございます。

(3) 委嘱状授与式のご報告

7 月 10 日に夏季ユースリーダー委嘱状授与式を実施いたしました。今季は 14 名のリーダーが委嘱されました。

(4) チャリティーランのお知らせ

「第 21 回仙台YMCAインターナショナル・チャリティーラン 2015」を下記の日程で開催いたします。今年度も、ご参加、ご支援のほどお願いいたします。

記

日程：2015 年 9 月 23 日 (水・祝)

場所：東北学院大学泉キャンパス陸上競技場

編集後記

▼新年度がスタートしました。東日本区理事、北東部長、会長主題に「未来」の文字が入りました。それぞれの立場で現実を見つめ直し、明るい未来に向かって進みましょう。▼7 月 24 日は二十四節気の「大暑」です。日本中猛暑が続いています。過日、初めて熱中症を経験しました。皆さま、自信過剰とならずくれぐれもご自愛ください。(弘)